



主の祈り

天てんにおられるわたしたちの父ちちよ、

み名なが聖せいとされますように。

み国くにが来きますように。

みこころが天てんに行おこなわれるとおちり地ちにも行おこなわれますように。

わたしたちの日ひごとの糧かてを今きょう日もお与あたえください。

わたしたちの罪つみをおゆるしくください。わたしたちも人ひとをゆるします。

わたしたちを誘惑ゆうわくにおちいらせず、

悪あくからお救すくいください。

アーメン

この「主の祈り」(口語文)は、日本のカトリック教会が公式に使用する祈りとして、日本カトリック司教協議会が認可したものです。この祈りの文言は日本聖公会との共同作業によって作成されたもので、両教会の典礼をはじめさまざまな場で、この祈りが共通に使用されます。

聖公会では通常「主の祈り」の後に頌栄(しょうえい)(ドクソロジー)を続けて唱えています。カトリック教会では通常は「主の祈り」には含まれませんが、エキシメニカルな集会などの際には、次の文とともに唱えることとなります。

くに ちから えいこう
国と力と栄光は、
えいえん
永遠にあなたのものです。アーメン

二〇〇〇年二月十五日

日本カトリック司教協議会認可